

令和3年度第3回県央地区保健医療福祉推進会議（書面会議）結果

1 協議事項

(1) 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査の変更（案）について

【審議結果】

「異議なし」 全会一致

（意見等）

- ・医療介護の連携がさらに求められる中、有効に活用して頂きたい。
- ・回答率を上げる方法として変更することに賛成。それでも回答率が期待水準に達しない場合は、追加の変更案を検討・実行することも考えられる。

2 報告事項

(1) 高齢者施設調査について

（意見等）

- ・現在、新型コロナウイルス感染症の施設でのクラスター発生の対応に関して医師会として検討をしています。この施設調査で、協力医など施設の状況が分かり参考になります。
- ・施設での介護施設の方から、施設へのアンケートが多いが、各地域の連絡会などへ本アンケートに対する協力依頼があれば、協力しますとお話をいただいています。
- ・まとめていただいたデータは、非常に役立つものと考えます。このデータをもとに海老名市、海老名市内の高齢者施設、救急告示の3病院で話し合いを持つことができました。継続的に話し合いを続け信頼関係を醸成した上で協力できるところを模索したいと考えます。

(2) 地域医療構想をめぐる国の検討状況等について

（意見等）

- ・新型コロナウイルス感染症発症に伴い、コロナ感染者を含めた入院体制、救急医療は崩壊した時期があったと捉えています。今回の第5波・第6波の地域の医療体制に関する検証を行う必要があると考えます。平常時には確保できる医療体制が災害時・新興感染症発生時に容易に破綻を来すことがないように検討すべきと考えます。
- ・推進会議は、圏域における保健、医療、福祉に係る重要事項を協議することを目的とする会ではありますが、病床転換の協議や外来医療機能に関する協議など推進会議に全てを委ねることなく、県が明確な方針を示し、地域でのWG等を十分活用できる体制を整えていただきたい。
- ・第8次医療計画に盛り込まれる『新興感染症対応』（国の検討事項資料 p13）に示されている「感染拡大時に活用しやすい病床や転用しやすいスペースの整備」はどのような病床を指しているのかが不明です。地域医療構想の基本的な枠組みは維持しつつとするならば、新興感染症対応のどの役割の病床を、どの区分の病床に当てるのかをある程度明確にした方がいいように思います。その辺りのデータも示していただけるとありがたいです。